

### 平成28年熊本地震に関する本プログラムの対応について

[ Topics ] 2016年05月18日

このたびの熊本と大分を震源とする地震におきまして、犠牲となった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

東北大学リーディング大学院グローバル安全学トップリーダー育成プログラムでは、現在、本震災に関する情報収集、被害調査に学生、教員、参画部局が一丸となって取り組んでおります。

#### ■平成28年（2016年）熊本地震に関する調査報告会（第2回）

：会場 災害科学国際研究所

2016年4月19日（火） 13:00～

熊本・大分における歴史的な地震および関連活動の記録について、3期生：松岡祐也さん（東北大学文学研究科）が事例報告、また、本報告会にて発表された建物被害調査チームの後方情報支援を専任教員 杉安和也助教が担当しました。

[http://irides.tohoku.ac.jp/media/files/\\_u/topic/file/20160419\\_report.pdf](http://irides.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/20160419_report.pdf)



#### ■平成28年熊本地震の発生メカニズムに関する解説：会場 リーディング大学院講義室

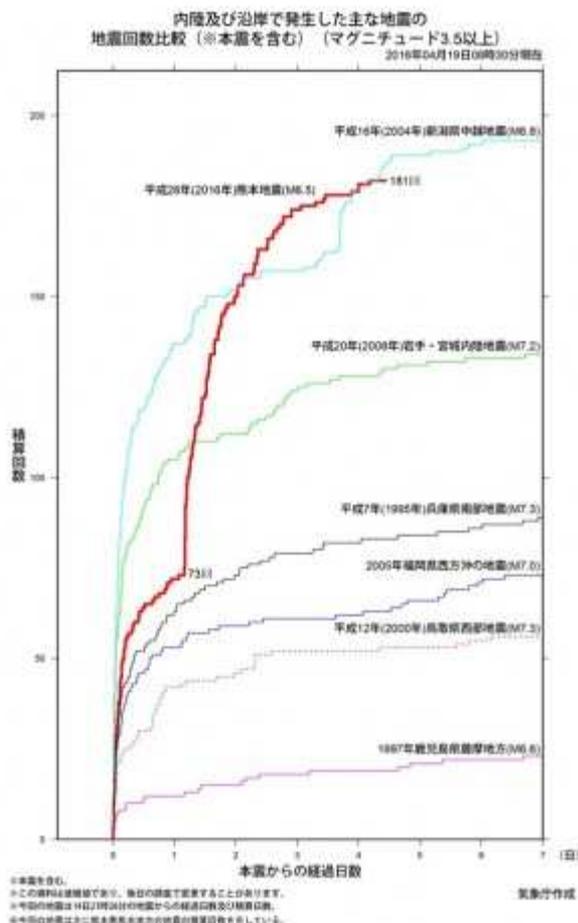
2016年4月19日（火） 16:20～

リーディング大学院マルチディプロシナリ科目「実践的防災学Ⅰ」において、専任教員 海野徳

仁 特任教授が熊本地震の発生メカニズムについて、同講義受講学生に対して解説を行いました。

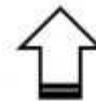
# 前震一本震一余震

本震	前震
1891年濃尾地震(M8.0)	3日前にM6.0
1995年兵庫県南部地震(M7.3)	前日に4回(最大M3.3)
2000年鳥取県西部地震(M7.3)	12時間前にM3.5, M2.1
2003年宮城県北部地震(M6.4)	7時間前にM5.6(震度6弱)
2011年東北地方太平洋沖地震(M9.0)	2日前のM7.3(震度5弱)
2013年ソロモン諸島沖地震(M8.0)	約2週間前からM6.0以上の地震が7回
2016年熊本地震(M7.3)	28時間前にM6.5



## 活発な地震活動

震源が浅いと余震が多い



余震とは？

浅部では不均質

さらに多数の活断層

■平成28年熊本地震に関する勉強会：会場 リーディング大学院講義室

2016年4月21日（木） 18:30～

2期生：富田史章さん（東北大学理学研究科）が中心となり、平成28年熊本地震に関する勉強会をG-Safety学生内で実施しました。この勉強会では、熊本地震に関する情報や理学的な発生メカニズムについて地震研究に携わる学生から報告を行い、その後参加学生全員で今後熊本地震に対してどのように対応していくべきかについて意見交換を行いました。

<http://g-safety.tohoku.ac.jp/students/2016/04/28/6380/>



## 最後に

リーディング院生は何をすべきか？

### 1. 熊本地震に関する支援活動

### 2. 次の地震に備えるための活動

- ・今回の熊本地震を”知る”
- ・阪神淡路大震災や東北沖地震との比較研究
- ・熊本地震から反省すべき教訓と評価すべきポイントをまとめる
- ・他地域（特に仙台）での直下型地震のリスクを知る・伝える
- ・直下型地震がおきた際に自助・共助・公助が機能するか検討

他に何かあれば是非意見交換しましょう！

■熊本・大分における現地調査の実施（2016年5月1日～4日）

平成28年（2016年）熊本地震に関する調査報告会（第4回）

：会場 災害科学国際研究所

2016年5月16日（月） 13:00～

5月1日～4日の期間に、災害科学国際研究所 奥村誠 副所長および専任教員 久利美和 講師、杉安和也 助教の調査チームが、熊本県南阿蘇村、阿蘇市、大分県小国町、九重町、由布市、別府市の熊本地震における社会的影響調査を実施しました。本調査結果は5月16日に災害科学国際研究所にて開催された平成28年（2016年）熊本地震に関する調査報告会（第4回）において奥村副所長より発表されました。

[http://irides.tohoku.ac.jp/media/files/\\_u/topic/file/20160516\\_report.pdf](http://irides.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/20160516_report.pdf)



■ 関連情報

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター 「2016年熊本地震」

<http://www.aob.geophys.tohoku.ac.jp/info/topics/topics-160416/>

東北大学災害科学国際研究所 「平成28年(2016年)熊本地震」

[http://irides.tohoku.ac.jp/topics\\_disaster/2016kumamoto-eq.html](http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2016kumamoto-eq.html)

■ 現地の報道情報

以下の新聞社は現在熊本地震関連の記事の紙面公開をおこなっています。

熊本日日新聞 「くまにちコム」 <http://kumanichi.com/index.shtml>

熊本日日新聞 「熊本地震 熊日紙面」 [http://kumanichi.com/saiqai\\_shimen/](http://kumanichi.com/saiqai_shimen/)

大分合同新聞 <http://www.oita-press.co.jp/>

大分合同新聞 「本紙一部公開」 <http://www.oita-press.co.jp/newspaper>

## 2016年熊本地震に関する現地調査報告会を開催しました（2016/4/19）

テーマ：緊急調査、2016年熊本地震

2016年4月19日（火）災害科学国際研究所において、平成28年（2016年）熊本地震に関する現地調査報告会を開催しました。まず、今村文彦所長より今回の地震に関する概要と本報告会の趣旨について説明がありました。当日のプログラムは、以下のとおりです。（太字が発表者）

1. 調査報告 ①活断層に関する調査報告：遠田晋次教授・岡田真介助教（災害理学研究部門）  
②建物等に関する現地調査報告：村尾修教授・森口周二准教授（地域・都市再生研究部門）・柴山明寛准教授（災害アーカイブ研究部門）
2. 事例報告 ①熊本・大分における歴史的な地震および関連活動の記録について：蝦名裕一准教授（人間・社会対応研究部門）・松岡裕也氏（東北大学文学研究科）
3. 情報提供 ①2016年熊本地震等による企業等への影響：丸谷浩明教授・寅屋敷哲也助教（人間・社会対応研究部門） ②東北メディカル・メガバンク機構（東北大学）発行『妊産婦を守る情報共有マニュアル』（URLは下部参照）

<一般・避難所運営者向け>：

[http://www.megabank.tohoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2016/04/ID14985\\_01.pdf](http://www.megabank.tohoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2016/04/ID14985_01.pdf)

<保健・医療関係者向け>：

[http://www.megabank.tohoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2016/04/ID14985\\_0202.pdf](http://www.megabank.tohoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2016/04/ID14985_0202.pdf)

本報告会には、報道関係者を含む約90名が参加しました。当研究所では、今後も調査・分析などの結果を随時、発表してまいります。

平成28年（2016年）熊本地震に関する特設ページ

[http://irides.tohoku.ac.jp/topics\\_disaster/2016kumamoto-eq.html](http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2016kumamoto-eq.html)

IRIDeS News

<http://irides.tohoku.ac.jp/irides-news/>



## 熊本地震に関する「IRIDeS 現地査報告会(第4回)」を開催しました(2016/5/16)

テーマ：災害調査、2016年熊本地震

報告会 URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/event/2016kumamotoeq.html>

災害科学国際研究所では、平成28年(2016年)熊本地震と同地震による災害について調査などを進めています。5月16日(月)13:00より「IRIDeS 現地調査報告会(第4回)」を開催し、報道関係者・所内外の研究者など約60名が参加しました。当日のプログラムは、以下のとおりです。(下線が発表者)

### <調査報告>

#### ① 阿蘇・大分への社会的影響

奥村誠 教授(副所長、人間・社会対応研究部門 被災地支援研究分野)、久利美和 講師・杉安和也 助教(リーディング大学院)

#### ② 地盤・社会インフラ被害調査

寺田賢二郎 教授・森口周二 准教授(地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野)

#### ③ 活断層調査(継続)

遠田晋次 教授(災害理学研究部門 国際巨大災害研究分野)、岡田真介 助教(災害理学研究部門 地盤災害研究分野)、石村大輔 助教(首都大学東京、元災害研助教)

また発表後には質疑応答のほか、以下の内容について、それぞれコメントがありました。

- ① 仮設住宅の整備について(岩田司教授 地域・都市再生研究部門)
- ② BCPについて(丸谷浩明教授 人間・社会対応研究部門)
- ③ 震災後の火災の発生について(五十子幸樹教授 災害リスク研究部門)
- ④ 医療支援について(江川新一教授 災害医学研究部門)

平成28年(2016年)熊本地震に関する特設ページ

[http://irides.tohoku.ac.jp/topics\\_disaster/2016kumamoto-eq.html](http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2016kumamoto-eq.html)

報告会のページ

<http://irides.tohoku.ac.jp/event/2016kumamotoeq.html>



奥村教授



森口准教授



遠田教授



今村所長(司会)



会場の様子

文責：鈴木通江(広報室)